

# CELLISSIMO

http://kobe-cello.com

## 心を一つに宮様を悼む 〜全国統一追悼チャリティーコンサートを終えて

高田宮憲仁親王殿下  
全国統一追悼コンサートを終えて

1000人のチェロ・コンサート  
〈事務局長・松本巧〉

チェロをこよなく愛され、『1000人のチェロ・コンサート』の最も深い理解者であり、サポーターでもあられた高田宮憲仁親王殿下の薨去の悲しみは1年経つてもなほ目減りするものではありませんでした。それどころか、同殿下の計り知れない影響力をより一層思い知らされるのでした。



総勢200名のチェロアンサンブルはさすがに圧巻。年末の忙しい時にも関わらず、開場前から多くのお客様が並んだのも嬉しいこと。終演後のレセプションで久子殿下から謝辞をいただいたことは、出演したメンバーにとって思い出となった。

12月29日のコンサートに10月初めからの募集にもかかわらず、200名近い方からの参加希望をいただきました。韓国・ソウルの李先生も3名の韓国チェロ界の中心的活躍をしておられる大学教授授チエリストを連れて参画をしてくださいました。皆さんとても忙しい方々ばかりでした。

また、ヴァインスハイマー氏も重かった腰を上げてくださり、生涯で初めてクリスマスから年末までベルリンの自宅を留守にして参加をしてくださりました。特筆すべきは、素晴らしいスタッフの方々の尽力です。過去いろいろの事業を遂行するのに、必要とされるスタッフが数と質の両面でいつも不足していました。今回も決して十分ではなくいくつかの点で反省すべきことがありました。

しかしながら、ごく短い準備期間と打ち合わせにもかかわらず、大過なく運営できたこと、ひとえに田原光子さん、古屋さおりさん、渡辺亮さんそして彼らが独自に調達された協力者のおかげです。本誌面をお借りして、その労へのねぎらいと御礼を申し上げます。

コンサートそのものは、日韓横浜でもお世話になったコンマスの佐久間豊春先生、分奏もご指導くださった指揮者の田久保裕一様、突然のお願いに見事応えてくださった司会の田中裕子様、そして財政面で破格に支えてくださった「東京・1000人のチェロを支える会」様の皆様のお力添えのおかげで、技術的・音楽的にも大成功となりました。

そして協賛団体の獲得や演奏面他で大活躍してくださった相馬理事、亡き殿下のチェロの拝借でお世話になった寺田理事、久子殿下の接遇・警護で何度も足を運んでいただいた森下様、山本理事の皆様には、本当にありがとうございました。感謝を申し上げます。



**data**  
日時：2003年12月29日(月)  
14:00～16:00  
会場：昭和女子大学人見記念講堂  
演奏曲名：ヒムヌス、組曲ニ長調、セレナーデ第29番よりアンダンテ、レリジョーソ、グラーベとメヌエット、チェロのためのレクイエム、ファイアリッヒェス・シュトゥック、白鳥、荒城の月、パッサカリア  
演奏参加者：200名

最後にお花の飾りをお手伝いの方まで呼んでくださった池田様には御礼とともに、お預かりした品を紛失するという失態をいたし、衷心よりお詫び申し上げます。  
本コンサートは多くの方々のお力添えで成功したものです。あらためてここに関係各位の方々に厚く御礼を申し上げます。



# 全国統一追悼公演

Na先生を中心とした韓国のメンバーとは  
日韓公演以来のお付き合い。



前夜の盛り  
上がりも歴  
史的でした



チェロ出身の指揮者  
田久保裕一氏



日韓に続くコンマス  
佐久間豊春氏



今なお、お元気な  
ヴァインスハイマー氏

高田宮憲仁親王殿下  
追悼チャリティーコンサートを終えて

NA DUKSEUNG  
中央大学音楽大学学長  
ソウル・チェリステン代表

私が高田宮憲仁親王殿下と初めてお会いしたのは、2001年の夏、神戸で開催されたNPO国際チェロアンサンブル協会主催の、第2回10000人のチェロ・コンサート」の時でした。

ソウル・チェリステンをはじめ、韓国の演奏者40名余りとともにこの演奏会に参加し、チェロだけで創り出す、美しく、雄壮なハーモニーを体験する場でありました。

この演奏会で殿下とともに演奏しましたが、専門家でないながらも音楽を愛しておられ、自ら参加される素朴なお姿に私たちは深い感銘を受けました。

当時、韓国の国民感情は日本の歴史教科書問題であまり平安ではなく、ギクシャクしていましたが、私は音楽によって創り出されるハーモニーは、両国関係において心と心が結び合わされる重要なチャンスとなることを確信していました。

この地での短い出会いではありましたが殿下は私たちの心に永遠に残っておられます。チェロ音楽による美しいハーモニーを天において喜んでおられると信じています。

2003年12月29日、高田宮殿下の追悼演奏会を開催されたNPO国際チェロアンサンブル協会の松本会長様と会員の皆様に慰めの言葉をおささげいたします。またこの演奏会に私をはじめソウル・チェリステンを招いてくださり、感謝申し上げます。

殿下の冥福を祈りつつ、追悼の言葉とさせていただきます。

高田宮憲仁親王殿下  
全国統一追悼チャリティーコンサート

《理事・寺田義彦》

12月29日、東京、人見記念講堂のステージを埋めつくしたチェロ大合奏は、再び胸にこみ上げてくる熱いものを感じました。このチャリティーコンサート開催は、CESの松本理事長と理事の皆様のご熱心なチャリティーアスタップの皆様の「尽力のおかげでした。これに宮様を慕い、また好きなチェロ演奏で世の中に役立てるといふ趣旨に賛同したチェリストが各地から集い、全国統一の立派な追悼演奏会が実現した」と思っております。

ドイツからヴァインスハイマー氏、韓国のナ教授他の皆様など、海外から演奏に駆けつけてくださった方々の温かいご協力を大変ありがたく思いました。また台湾から聴きにきた友人のピアノは、その美しさにとて驚き、趣味で始めたチェロの腕を磨き、次回はぜひとも演奏に参加すると言いました。



本番後のレセプションでは、最年少参加のチェリストとの交歓風景も見られた。久子殿下のお召し物には、大胆なf字孔がデザインされていた。

承りました。とても喜ばれていらつしゃいまして、幅広い世代で構成される演奏者についてもお尋ねがありました。また、初めての演目となったワーグナーについて、殿下ご自身は一連の作品からチェロアンサンブルを想像できなかったが、とても良かったとの感想でした。同じくご来臨された承子女王殿下からは「綺麗な演奏で、個人的にはレクイエムが好きでした」と感想を承りました。

「関係されたすべての皆様に深く感謝申し上げます。以上を寺田の報告とさせていただきます。

東京・10000人のチェロを  
支援する会より皆様へ  
代表 相馬匡彦

はじめまして。今回、高田宮憲仁親王殿下全国統一追悼チャリティーコンサートより発足しました「東京・10000人のチェロを支援する会」です。この会は、東京での10000人チェロの知名度を高め、スポンサー・プレイヤーによる支援を求めるための会です。今後、2005年のチェロコンGRESS、また未定ではありますが、2008年の東京大会（実現しない）に、向けて今後活動して行きます。

この会のメンバーは、私、相馬匡彦が代表となり、松井敏矢（株式会社ブル・コトレーション代表）、久保利道（株式会社オックス・コトレーション代表）、上原勝（株式会社インターテックジャパン代表）、南部汎江（株式会社ナンプオフィス代表）で活動しています。

また、特別顧問に元シンガポール大使の三宅和助先生が大役をお引き受けくださいました。がしかし、去年暮れより体調を崩し、今年一月残念ながら永眠されました。心よりお悔やみ申し上げます。このことは、私たちにとても大変な痛手でしたが、今後、より一層の努力をして行く所存です。よろしくご協力をお願いします。

# 天童公演

日本一の『最上川舟歌』もお披露目された



## data

日時：2003年7月13日（日）  
14:00～16:00  
会場：アトリウムプラザ  
演奏曲名：白鳥、アヴェ・ヴェ  
ルム・コルプス、ピチカート・  
ボルカ、アヴェ・マリア、  
組曲二長調、ブラジル風パッ  
八第5番、最上川舟歌、フォ  
ーレのレクイエム、ヒムヌス、  
チェロのためのレクイエム  
演奏参加者：125名

そ、私も仕事をこなすことができました。一例を挙げましょう。このコンサートではセッティング変更や奏者入れ替えがあり、そこで120余人の入退場には大変な困難が予想されました。そのためGPでは、皆さんに何度か入退場や入替えの練習をしていただきました。これは本番をシミュレートする上で重要な練習ですが、反面つまらないものでもあります。しかし粛々と、でも大変素早い舞台転換ができました。これはもうメンバーの結束力の賜物であると思いました。

それは、演奏にも現れていました。リハではさすがに皆さんの表情も音楽も少し堅いように感じましたが、当日のGPではチェロ本来のやさしい音が幾重にも重なり、本番は超満員のお客様に感動を与える演奏になったのです。さらに客演の民謡奏者や地元の方々の奮闘もあって、舞台と客席の敷居が取れ、正にホールが一体のコンサートになったと言っても過言ではないと思います。

裏方として見たとき、この大成功の裏側には、多くのスタッフや共演された皆さんの大変なご協力がありました。市民プラザ職員の皆さん、ホールの皆さん、共演の皆さん。プロの方々のご協力を、また楽しんでくださるというのは常ならぬことでした。いかに『1000人のチェロ』が多くの方から支持されているかの表れではないでしょうか。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

前日のGP風景。指揮：升田俊樹 ソプラノ：高橋まり子



## 2003 6/22 高田宮様追悼の午し in 岡山

「高田宮様追悼公演 in 岡山によせし」

1000チェロの皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

2003年6月、岡山（笠岡）での高田宮様追悼公演が行なわれ、早8カ月、厳かな中にも、和気藹々とした雰囲気の中で進められてまいりました。

念願のチェロを習い始めて9カ月で2002年の『1000人のチェロ・コンサート in 岡山』に、1年半でこの追悼公演にも参加させていただけたことは、本当にありがたいことと感じております。私事で大変恐縮でございますが、この場をお借りいたしまして、師匠である中村康乃理先生にお礼を申し上げます。

ただ、『1000人のチェロ・コンサート in 岡山』の時に、宮様がご公務のため、岡山（笠岡）までお越しいただけなく、次回を楽しみにいたしておりましただけに、まさか、このような形で演奏をこなすことにはならないということが、とても残念に思われます。

しかし、チェロを愛し、音楽を愛する人たちの和は国境を越え、人種を超えてどこまでも広がり、深まっていく。そんなことを宮様は私たちに教えてくださったような気がしてなりません。

in 岡山（笠岡）となると、演奏者であり、裏方スタッフでもあるといったことが現実化してまいります。地元の人メンバが顔を合わせる時は、作業の合間に練習をするといったこともしばしば。練習の休憩時間などは、演奏について話しているはずでも、いつの間にか、現場監督、大道員係、小道具係になりきっている自分たちを思わず苦笑したりしてしまいました。それでも、練習だけははしくては！と、お互い時間調整をして頻りに集まっては、練習のそぶり？ だけは熱心だっ

たように記憶しております。

チェロを通じていつの間にか、仲間同士すっかり馴染み、気持ちも通じ合い、何ものにも代えられようもない財産を築くことができたので、いざいざ。宮様がこのよくなま暗らしい宝物を残してくださったことに厚く感謝申し上げます。そして1000チェロが、永遠なれ



鳴り止まぬ拍手に応えて



クラシック演奏史に残る名演となりました

天童公演実行委員会事務局 理事 増川誠

れた根付けの馬駒をプレゼント。

升田俊樹先生の明快で渾身の指揮。高田宮様への限りなき哀悼の心。公演の背景づくりや裏方を進んで協力してくれた人々への感謝の念が、ステージ上でひとつの高揚したスピリットに昇華され、125名のチェリストが感動。その感動の波が、超満員の客席に伝わり、ホール全体がこれまでにない感動の渦に巻き込まれるという、クラシック演奏史に残る名演となりました。

本公演のすべは、記念DVDに製作され、出演者とスタッフ全員に感謝を込めて贈呈されました。ありがとうございました。

（ソプラノ独唱/高橋まり子、民謡ノ唄/石山鳳青、尺八：武田竹童、遠藤哲也、かけ声：斎藤渡、渋谷京子）

1000人のチェロ・コンサート in 山形（天童公演）に参加して

ステージマネージャー 渡辺 亮

「ステージマネージャーをお願いできませんか？」 『1000人のチェロ・コンサート in 山形』指揮者の升田俊樹先生にお話をいただいたのは、7月上旬でした。私は昨年まで東京の成蹊大学管弦楽団に所属し、升田先生に公私にわたってお世話になっておりましたが、大役を仰せつかり、大変驚きました。大学オケ時代にステマネ経験はあったものの、準備期間が極端に不足していて、不安だらけでした。アマチュアチェリストとして、『1000人のチェロ・コンサート』には以前から興味と憧れを持っていたことも私には緊張の種となりました。

しかし、実際に前日のリハーサルを迎えると「あ、これは成功するな」と確信しました。それは、すべての皆さんが大変に協力的で、お互いにこのコンサートを作り上げようという気持ちを強く感じたからです。今まで参加したことのない私を、温かく皆さんが受け入れてくださったからこ

2003 7/13 高田宮様（親王殿下追悼）第18回国民文化祭・やまがた2003 応援事業『1000人のチェロ・コンサート in やまがた（天童公演）』

2003年7月13日（午後2時開演・天童市民文化会館大ホール）の『1000人のチェロ・コンサート』は、冒頭暗転の中、高田宮様の遺影がスポットに浮かび、コンサートマスター・石川祐治さんのサン＝サーンスの『白鳥』のソロで、祈りの中に始められました。

この天童公演には、ステージいっぱいポランテアチェリスト125名が、全国各地から参加してくださいました。本公演の準備が始まった一昨年の11月21日、1000人のチェロ名誉総裁で、天童公演にもご臨席予定であった高田宮様が突然薨去され、世界中に驚きと哀悼と慟哭が広がっていきました。

音楽を愛し、自らチェロに手にされ、明晰で誠実なお人柄に加え、フランクに私たちに接してください、何事にも率先してご尽力された希有な御人格。私たちが太陽として仰ぐ高田宮様でした。殿下追悼公演の主旨は、多くのチェリストのみならず、芸術文化の推進者、行政、経済界、ロータリークラブなど、広く深く浸透し、県内外に受け入れられて反響を呼びました。さらに、山形県が国民文化祭開催年であるという、高揚した空気に支えられました。

参加者の方々が天童に到着してから帰られるまで、できる限りの“歓迎”の意を表明するように努めました。公演前夜の歓迎パーティーでは、出演者をパートごとに紹介し、亡き殿下がコレクターとして有名な「根付け」に仕込んだ、各自の名前が刻印さ



前夜の歓迎パーティーでは天童市武田助役から「根付け」記念の名入り根付け駒を贈られ、一回大感激

# 2003 National Cello Congress Report

## アリゾナの全米チェロ大会に2000人のチェリスト集結!

全米チェロ協会主催『第7回全米チェロ協会』ツアーに、18名(内チェリスト13名)の参加申し込みをいただきました。一行は昨年5月15日に成田・関空を出発し、22日に帰国しました。この模様をメヒコに滞在中の宇野義雄さんがレポートしてくださいました。



### 《No.10072宇野義雄》

『全米チェロ・コンGRESS』の感激は強く残っています。何しろグラント・キヤニオンのある米アリゾナ州のその地元で、組曲『グラント・キヤニオン』をチェロ2000人で弾いたのですから! そしてジャズセッションなどもあって大会全体がいかにアメリカらしい大変に自由な雰囲気! その中を我々「日本・1000チェロ」のメンバーは、張り切って嬉々として泳ぎ回ることができました。私は、現在、昨年の11月から2年間の予定でメヒコに滞在していますので、アリゾナでの開催は、日本からの参加と比べたらお隣りさんへ行くというよくな都合のいいものでした。松本理事長以下、本隊の皆さんとは会場となったアリゾナ州立大学音楽学部の本拠地テンペ市で合流させていただきました。

ゲームジ大ホールでのチェロ2000人大合奏では、先ずグロフエ作曲『グラント・キヤニオン組曲』の壮大さに打たれました。前日の早朝に実際に見学してきた大峡谷のサンライズを想起しながらの演奏に酔いました。チェロを弾くのは、ただ音符を追いかけるのではなく、頭に描いたイメージが大いに作用するところを再認識しました。

コーランド作曲『ホウ・ダウン』では、ぶっ飛ばすような超スピード演奏に、これが本場の音楽かと驚嘆し、爽快さを感じました。本番および2回の全体練習では、傍で達者に弾くスキメソッドの若い諸君に大いに尻を叩かれる気がしました。また、各地の音楽大学教授と思しき方々が

多くおられて、しっかり演奏を固めていたように思います。

最終日のファイナルコンサートでは、日本チーム13名が『日本の四季(唱歌メドレー)』を、やや緊張気味ながら立派に披露して、大きな拍手をいただきました。

ピアティゴルスキーの生涯と演奏とに関する講義やジャズ演奏セッションなど、アメリカならではの多彩な催しに、音楽の奥行きと間口の広さを感じて、チェロと音楽をもっともっと自由に楽しめば良いんだ、との思いを深くしました。

夢に見ていたロストロポヴィチの指揮棒を受けることこそ叶いませんでしたが、十分に満足に行く大会参加でした。渥美会長、ランド



シヨットさん以下「全米チェロ協会」あけての運営と日本デレゲーションに対する温かい歓迎とに心から感謝をいたします。

### 第7回全米チェロ大会2003日程

<http://www.cello.org/Newsletter/Articles/nationalcongress2003.htm> にもレポートがあります。

- 5/16(金) マスタークラスwith Hans Jorgen Jensen  
 ストリングカルテットセミナー with A.Schoenfield & E.Shoenfield  
 コンサート (Tanya Carey, California Cello Club)  
 パネルディスカッション with Orlando Cole, Phyllis Young, David Litrell (ASTA President), Eleonore Schoenfeld  
 オーケストラ・リハーサル
- 5/17(土) マスタークラスwith H.J.Jensen  
 シンポジウム、ユース・リサイタル、コンサート (Piatigorsky)  
 新旧楽器16台によるブラインド比較パフォーマンス  
 オーケストラ・リハーサル
- 5/18(日) パネルディスカッション with Olga Rostropovich (daughter), Vagram Saradjian, Tanya Remenikova  
 スズキパフォーマンス  
 ASTA (American String Teacher's Association) コンテスト受賞者によるコンサート  
 チェロオーケストラコンサート (1)
- 5/19(月) マスタークラス with Orlando Cole Brahms、ユースリサイタル  
 パネルディスカッション with Ron Leonard (前ロサンゼルス・フィル首席チェリスト), Louis Lowenstein (ピッツバーグ・フィルチェリスト), Sam Cristler (ピッツバーグ・フィル指揮者およびロチェスター・フィル前首席チェリスト)  
 マスタークラス: ヴィブラートテクニック with Phyllis Young  
 マスタークラス with Orlando Cole Brahms  
 マスタークラス with H.J.Jensen  
 室内楽オーケストラ・リハーサル
- 5/20(火) マスタークラス with H.J.Jensen  
 ストリングカルテットクラス with A.Schoenfield  
 パネルディスカッション、エキジビション、  
 各マスタークラス、ファイナルコンサート (含「日本チーム」演奏)

#### 1: 曲目

- Adagio in G (Tomaso Albinoni)
- Adagio for Strings (S.Barber/arr. D.Preiser)
- Hoe-Down from Rodeo (A.Copland / arr. D.Preiser)
- Grand Canyon Suite (F. Grofe / arr.D.Preiser)
- .Sunrise .Painted Desert .On The Trail

#### 2: 曲目

- 2) Kojo-no-Tsuki, Furusato and other Japanese Folk Songs

## event

2005インターナショナル・チェロ・コングレス

2005年に兵庫県神戸市で開催される『インターナショナル・チェロ・コングレス』について、2004年1月現在の決定事項大概をご報告いたします。今後も随時、会報誌にて決定事項をご報告いたしますので楽しみに！

インターナショナル・チェロ・コングレス・イン神戸～1000人のチェロ・コンサート～  
International Cello Congress in KOBE in Association with the American Cello Council -The 1000 Cellists Concert

日程:2005年5月16日(月)～22日(日)

場所:神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル、ワールド記念ホール

主催:NPO国際チェロアンサンブル協会

共催:日本チェロ協会、(社)才能教育研究会、(株)讀賣新聞大阪本社

特別協力:全米チェロ協会

特別名誉会長:河合隼雄文化庁長官

大会名誉会長:ムスティスラフ・ロストロポフ・ヴィチ

大会会長:バーナード・グリーンハウス、ヤーノシュ・シュタルケル

芸術監督:堤剛(日本チェロ協会会長)

大会コンセプト:現代を代表する世界的チェリストをはじめ、世界各地からチェロを愛する、1000人規模のプロフェッショナル、アマチュアが神戸に集い、チェロを通じ音楽の喜びを分かちあい、次世代を担う青少年・子供たちを交えて、教育的観点から将来の可能性を探ります。震災復興から次のステップを踏み出し始めた兵庫・神戸の地から、人と人との大切なつながりをチェロを通じて確認しあい、平和な国際社会の実現に向けて、チェロにできることを世界に向けて高らかに発信します。

イベント内容:

1000人のチェロ・コンサート

マスタークラス

リサイタル・コンサート

レクチャー

ワークショップ

楽器の展示・販売

シンポジウム

レセプション・パーティー他

上記イベントのいずれかにご出演いただく予定のチェリストおよび音楽家の名前を記します。

\*は、2003年1月17日現在、参加を表明いただいている方々です。

招聘依頼を予定しているチェリスト

Yo - Yo Ma	Mischa Maisky
Maria Kliegel *	David Geringas
Miklos Perenyi	Danjuro Ishizaka *
Jian Wang	Zhao Jing
Arto Noras *	Bernhart Hedenborg
Ralph Kirshbaum *	Phillip Muehrel
Mark Kosower *	Gary Hoffman
Truls Mork	Denies Djokic
Luis Claret *	Mario Brunello
Anner Bylsma	Peter Wisperlwey
Natalia Gutman *	Han - Na Chang

## information

理事会報告

日時:2003年11月9日(日)13:00～16:00

場所:NPO国際チェロアンサンブル協会神戸事務局

A. 高円宮様全国統一追悼コンサートについて

(2)楽譜、曲目、各地分奏について

(3)観客の動員について

(4)コンサート当日の役割分担について

B. インターナショナル・チェロ・コングレス・イン・神戸に関して

(1)現時点の進行状況について

(2)海外アーティストの招聘について

(3)1000チェロの部について

(4)各共催者担当における企画と運営について

C.その他

(1)アジアのチェロ仲間エイド(仮名)について

・全国から古弦を集めて、タイのチェリストに贈る。

・リーダーはNPO協会員 橋本勝郎氏。収集方法についても同氏の案にて了承。

(2)楽曲の委嘱について

・2008年のチェロアンサンブル曲作成に向けてオリジナル曲と編曲の2本柱で募集する方向性を決定。作曲に関して、無名の方からも募集する。賞金を出す。選ばれた曲について、使用权のみをもらって、著作権はもらわない。

・2008年の1000チェロに関して10周年ということもあり、宮様が常々おっしゃっていた「1000チェロを東京で」という遺志をついで、東京で行なうことで意識を統一。

(3)会員増強ツールの配布について

編集部註

タイに古い弦を送る話については、その後、すでに全国から集まった弦をタイに松本事務局が自ら持参し、喜ばれています。

(以下、弦楽器専門誌「サラサーテ」vol.3より転載)

～年末12月29日の高円宮様全国統一追悼チャリティーコンサート東京分奏会場で、一人のアマチュアチェリストが支援を呼びかけた。『タイのオケの方

と懇意にしているアマオケの友人によれば、タイのチェリストたちは、お店が手近にないなどで(特に資金的に)弦の調達に苦労しており、彼らにとっては、切れてさえないなければ、我々の使い古しレベルでも十分、との話を伺いました。私自身も「音質が変わったから」という理由などで、切れてはいないけど新しい弦と交換することがあります。そのような弦を贈ろうと考えました。その方も、「今度、個人的に新品買って贈るんだ」とのことでしたが、数的に限度があります。そこで、何らかの方法で全国のチェリスト仲間へ声をかけ、戸棚の奥に眠っている使い古しの弦を集めて贈りたい、との考えにいたしました。』と。

この追悼コンサートを主催する国際チェロアンサンブル協会も、2005年に予定しているInternational Cello Congress(神戸で開催予定の国際チェロコングレス)にアジアのチェリストにも加わっていただきたいという主旨とも合致し、今回のこの「使い古しの弦を集めるキャンペーン」に積極的に協力。その結果、演奏会当日までに、参加チェリスト200名から合計169本もの弦が大集結。年が明けて、同協会松本巧理事長がタイに直接持参した。日本とタイのチェリストたちが弦によって通じ合うという新しい展開、今後も息の長い運動として続く。～

## コンテスト参加者募集

第1回アンサンブルコンテストinかさおか

日時 2004年6月26日(土)

開場14:30 開演15:00

場所 岡山県笠岡市十一番町 保健センター  
ギャラクシーホール

主催

チェロ・アンサンブル・コンテストinかさおか実行委員会  
NPO国際チェロアンサンブル協会

表彰 上位3団体

参加費

1団体当たり 5,000円

1人当たり 3,000円の合計金額

(NPO会員は半額)

持ち時間 1団体10～15分程度

演奏形態

・参加団体によるアンサンブルコンテスト

・参加者全員によるアンサンブル(2～3曲)

申し込み

参加希望団体の代表者に、メールアドレスを記入して申し込みをもらい、詳細が決まり次第、メールで各団体へ連絡する。

申込先

「アンサンブルコンテスト実行委員会

714-0081岡山県笠岡市笠岡303-1 中村幸太郎

tel.0865-62-2868(自宅) 090-3746-8923(携帯)

0865-62-2245(勤務先) fax.0865-62-5935(勤務先)

E-mail kohtaro@kcv.ne.jp(自宅)

kasa-kyu@pluto.plala.or.jp(勤務先)

申込期限 5月末日

事務局より

植村事務局員が、3月末日で退職しますので、お知らせします。

# À.L.A.CARTE

## 楽譜情報

「神戸楽譜」出版の楽譜をご紹介します。カタログはホームページにも掲載されています。通信販売も行なっていますのでご利用ください。

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通1-5-12

tel.078-332-1507 fax.078-331-8750

10:00 ~ 18:00 日曜・祝日休

<http://www.kobe-gakufu.com/index.html>

Cello Solo

・徳永秀則:チェロのための2つの小品 (¥600)

Cello and Piano

・クライスラー:シンコペーション (¥850)

・ロンドンデリー・エア (¥900)

・エルガー:愛のあいさつ (¥900)

・サン=サーンス:白鳥 (¥800)

・レハール:フラスキータ (¥1,000)

・ホイベルガー:真夜中の鐘 (近日出版予定)

いずれもデュオ・ハヤシ (林俊昭、林由香子) によるチェロとピアノへの編曲です。日本クラウンよりデュオ・ハヤシの演奏でCDが発売されています。

・滝廉太郎:荒城の月 (幸松肇編曲 ¥900)

オリジナルはチェロ用の編曲。ヴァイオリン用、ヴィオラ用、ダブル・ベース用のパート譜も付きます。

・2つの日本民謡 江差追分・八木節 (幸松肇編曲・近日出版予定)

4 Cellos

・映画音楽メドレー (平部やよい編曲 ¥3,400)  
エデンの東 / 第3の男 / ムーン・リヴァー / ララのテーマ / 80日間世界一周 / 慕情 / タラのテーマ

4人のマスターチェリスト (林俊昭、河野文昭、柳田耕治、上村昇) によって1990年初演され、好評だったものです。

・八木節 (幸松肇編曲 ¥1,000)

すでに出版されています弦楽四重奏版をチェロ4重奏用にしましたものです。

12 Cellos

・チャイコフスキー:アンダンテ・カンタービレ 交響曲第5番第2楽章 (藤井昌弘編曲 近日出版予定)

String Orchestra

・パツハリア 二長調 組曲第3番より (ペーターズ版をもとに制作)

Full Score ¥400

Parts (Set 3A:3.3.2.2.1+Cembalo) ¥1,200

Parts (Set 5A:5.5.4.3.2+Cembalo) ¥2,000.

・レスピーギ:リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲 (リコルディ版をもとに制作)

Full Score ¥1,500

Parts (Set 3A:3.3.2.2.1) ¥4,400

Parts (Set 5A:5.5.4.3.2) ¥7,600

Parts (Set 8B:8.7.6.5.4) ¥12,000.

Cello and String Orchestra

・エルガー:愛のあいさつ・二長調 (幸松肇編曲)  
Full Score ¥600

Parts (Set 3A:3.3.2.2.1+Cello Solo) ¥2,400

Parts (Set 5A:5.5.4.3.2+Cello Solo) ¥4,000

Parts (Set 8B:8.7.6.5.4+Cello Solo) ¥6,200

## 練習場・貸ホール情報

沙羅ホール (あいも文化交流会館)

東大阪市御厨中1-18-38 (近鉄奈良線 八戸ノ里駅から北へ5分)

tel:06-6782-3566 (館長 奥田様)

<http://www.ingnet.or.jp/oichni06>

ホール使用料:2500円/1時間、15000円/1日 (10:00~22:00)

年会費3000円を払うと4割引。土日祝を除く毎月8日はホール使用料0円!!

グランドピアノ (ボストン218) 使用料:1000円/1時間、5,000円/1日

広さ:11m x 8m (天井が低め) ビルを改装して作ったアットホームな感じのホール。可動式イス100

予約:受付は半年前から。予約時にホール使用料の50%を支払う。1ヵ月前までのキャンセルには全額返却。それ以降は返却しない。

その他:カフェ併設。

## こしつけ gourmet vol.4

### 神戸モーツァルトのウィーン菓子

映画『アマテウス』で、モーツァルトのライバルであるサリエリが菓子をパクパクと食べていたシーンは覚えていますか。彼自身は果たしてお菓子好きだったのでしょうか? 『モーツァルト』という名の洋菓子店やカフェが日本全国にはたくさんありますが、神戸にも1軒発見。洋菓子店『神戸モーツァルト』には、“ト音ロールケーキ”や楽器の形をした“オーケストラクッキー”や“楽譜パウンドケーキ”が販売されています。パウンドケーキが楽譜?…じゃなくて、フツのパウンドケーキが包装紙代わりにピアノ楽譜で巻いてあるというだけのことなんですけど。ケーキはフルーツ、キルシュ、マープル、オレンジ、紅茶の5種。そして楽譜の方も『フィガロの結婚序曲』、『ピアノ協奏曲第21番』、『クラリネット五重奏曲 長調』、『フルーツ協奏曲2番 二長調』、『トルコ行進曲』と5種。好みの楽譜と中味をセットしてくれます。ついつい素通りでせずに購入。しっとりとしていて大変美味でした。

●『ウィーン菓子・神戸モーツァルト』

神戸市兵庫区石井町6-2-3

tel.078-531-0014

神戸ハーバーランド阪急百貨店にも店舗あり



## 『宮さまとの思い出』 妃殿下が語られた

高円宮妃久子さまが、宮さまとの出会いから18年間にわたる思い出を綴った回顧録『宮さまとの思い出』が2003年11月に出版されました。御公務やプライベートの貴重なお写真、約150点もカラーで掲載されています。

『宮さまとの思い出』

発行:産経新聞ニュースサービス、扶桑社  
¥1,524

# CELLISSIMO

会員が所属する市民オーケストラやアンサンブル団体をご紹介します。

## 所属オケ紹介 Vol.4

### 市原交響楽団

(千葉県)

<http://www.f8.dion.ne.jp/ichiphyl/>

創立 1992年  
団員 約60名(内Vc4名)  
活動地域 千葉県市原市八幡宿・五井中心  
活動内容 定期演奏会、アンサンブル大会ほか  
会費 月2000円(入団費1000円)

練習 土曜日 18:00~21:00  
第2日曜日のみ13:00~17:00  
お問い合わせ 藤井直 (No.010003)  
tel.& fax. 0436-66-6998  
email: taddy@f3.dion.ne.jp

直近の演奏会~5月9日(日)室内楽大会(市原市市民会館) 2月8日に矢部達哉氏との共演を終えたばかり

我が街、市原は、千葉市の南に隣接し、ゴルフ場が多いことで有名で、最近では「ジェフ市原」の活躍で全国区レベルの知名度になっています。メンバーは小学生からナイスミドルまで、学生・先生・公務員・ビジネスマン・主婦...とまさに市民の縮図。音楽バカの集まりであること、練習場より宴席のほうが元気な呑み助が多いことは他のオーケストラにけっして引けをとりません。運営が安定しているのは公式役員会のほかに「おばさんサミット」なる闇組織のおかげだとか。私は怖くて近づいたことはありません。

演奏活動は小学校音楽教諭である常任指揮者・小出英樹氏の情熱に支えられています。本番指揮者と練習指揮者が同じというのは恵まれていますし、さらにトレーナーは今や1000チェロコンマスとしておなじみの佐久間豊春氏にお願いしています。原典版楽譜を尊重し、邦人作品を積極的に取り上げ、チ



ェロバスを左翼に配置するなど音楽的個性も誇っています。定期演奏会は2年に3回のペース、だいたい8ヶ月ごとに行なっています。演奏会前には必ず内房の岩井海岸で合宿します。金曜日夜から日曜日のランチまで。夜9時まで総練やった後、即宴会突入組とアンサンブル愛好組にわかれ、合流して盛り上がったあとは「そろそろ明るくなってきたから寝ようか」というのがパターン。次の日の朝は9時からしっかり練習です! 定演開演前にはい

くつかのグループがロビーでお披露目演奏します。(写真)またアンサンブル大会も大切なイベントとして年中行事化しています。小ホールのステージを一日借り切って、40組が計6時間にもわたって多彩な演奏を繰り広げるといって一種耐久レースの様相もあります。写真は山中湖ペンション・セロでアンサンブル合宿をやったときのものです。

在籍人数

は60名ほどで管楽器群はかなり充実していますが、ヴァイオリン・チェロ・コントラバス合わせて8名という低弦メンバーの増強が、何よりの課題。あなたも楽しい仲間の輪に加わりませんか!?



## 編集人的十ヶ月ヨミ雑音記 第4回 2004年1月17日の風景

一年に何度か眠れない夜がある。毎年1月17日、正確には1月16日もそんな日で、夜がふけて静かになればなるほど、緊張感で閉じられない目が暗闇の中でつい何かを捜してしまう。もう9年もたったのに...と思われるかもしれないけれども、あの時、阪神淡路大震災を経験した人々は、それぞれの特別な思いを抱いて毎年この日を迎えるのだろう。

早朝の追悼礼拝に参加してろうそくを灯し、雪でつくったお地蔵さまの前で手を合わせる人が画面に映る。寒々とした曇り空の下、メモリアルウォークに参加する人もすれ違った。リュックサックを背負い、スニーカーを履いて、頭には帽子といういわゆる震災ルック。当時必ず皆がしていた防塵マスクがないだけ。この日、震災で産まれたばかりの子供を亡くした友人が、その子供に語りかける童話を出版した。地元の新聞社では、毎年、この日の社員食堂メニューは缶詰めと御飯。「あの大変だった時を忘れるな」という意味だそう。上空では一日中、取材のヘリコプターの音がする。

幽霊屋敷のような部屋に、天井までうず高く積み上がった本と折れ曲がった本棚とガラスが飛び散っていた光景。締切り前日はその部屋で徹夜を常としていた私が、何故かその時だけ1日前に仕上げている命拾いした。もう背の高い本棚は辞めよう、本は買わずに借りることにしよう、

と決心するのに、いつのまにかまた前のように戻ってしまっているのを見て苦笑。

いつも寝室に置いている非常用のバッグの中味、水や食糧などを点検して、翌18日は前日の睡眠不足を補うかのように早々と寝入った。私にとって1月17日はいろんな意味で原点に戻る日である。



## 《大掃除で出てきたこんな本》

『マドモアゼルがシェフだって・女性指揮者の青春エッセイ』(松尾葉子著)かのう書房/2003年9月に新装改訂版『指揮者にミュージックが微笑んだ』が論創社から出版。プザンソン国際指揮者コンクール女性初の優勝者のエッセイ。芦響の話など身近な話もあり。

『音楽のある知的生活』(渡部昇一+渡部玄一)PHPエル新書/『知的生活の方法』で有名な教授とそこの子息でチェリスト玄一さんの音楽をめぐるリレーエッセイ。小さな本なのに時代や音楽感を含め2倍の中味で楽しめるオススメ本。

『林光・音楽の本』晶文社/宮沢賢治作品を愛する作曲家・林光さんの著書。本書は絶版らしいが、他にも『ゴーシュの仕事場』一ツ橋書房などがある。'ゴーシュ'とは'左'という意味とともに'不器用'という意味もある。

『Conversations avec Pablo Casals』/J.M.CORREDOR 絶版になってしまった『カザルスとの対話』1955年の仏語原著。日本語版『カザルスとの対話』(佐藤良雄・訳、白水社)はまだ大丈夫!?

《編集人T》

# information board

## 掲 示 板

### concert

「大阪フィル第376回定期演奏会」

3/10(水) 3/11(木) 19:00開演

ザ・シンフォニーホール(大阪)

イルジ・ピエロフラヴェク(指揮) リウエイ・チン(チェロ)

スメタナ:交響詩「我が祖国」より「ボヘミアの森と草原から」ほか

大阪フィル 06-6656-4890

「ドヴォルザークへのオマージュ<没後100年>

東京フィルハーモニー交響楽団演奏会」

3/12(金) 19:00開演 和光サンアゼリア(埼玉)

ドヴォルザーク:「チェロ協奏曲」/交響曲第9番「新世界より」

円光寺雅彦(指揮) 趙静(チェロ)

S4,000円~B2,000円

サンアゼリア 048-468-7771

「クラシックファンのためのコンサート

林裕 チェロリサイタル」

3/18(木) 19:00開演

イシハラホール5Fリハーサルルーム(大阪)

曲目未定、無料

NPO法人クラシックファンのためのコンサート事務局

06-6203-7104

「新日本フィルハーモニー交響楽団名曲シリーズ」

3/20(土) 15:00

すみだトリフォニーホール(東京)

モーツァルト:歌劇『フィガロの結婚』序曲/2台のピアノのための協奏曲変ホ長調K.365/ブルッフ:ホル・ニドライパーンスタイン:ミュージカル『ウェストサイド物語』よりシンフォニック・ダンス

クリスティアン・アルミンク(指揮) フェルハン&フェルザン・エンダー(ピアノ) 川上徹(チェロ)

4,000円、シルバー(65歳以上)2,000円、小学生1,000円、墨田区在住在勤在学2,500円

新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815

「彩の国ブラームス(管弦楽)プロジェクト」

3/21(日) 15:00開演 埼玉会館大ホール(埼玉)

現田茂夫(シリーズ監督・Cond) 竹澤恭子(Vn) 堤剛(Vc)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲//ハイドン:

チェロ協奏曲第2番二長調/ブラームス:ヴァイオリ

ンとチェロのための二重協奏曲イ短調

S5,000円~学生B1,000円

埼玉会館 048-829-2471

「オーケストラ・アンサンブル金沢第158回定期公演」

3/25(木) 19:00開演

石川県立音楽堂コンサートホール

ギュンター・ピヒラー(Cond) 石坂団十郎(Vc)

シューマン:チェロ協奏曲イ短調/ベートーヴェン:交響曲第8番ヘ長調 ほか

石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

「鎌倉芸術館 リサイタル・シリーズ

堤剛(Vc) & 野島稔(P) デュオ・リサイタル」

3/27(土) 15:00開演 鎌倉芸術館大ホール

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第30番ホ長調/パッハ:無伴奏チェロ組曲第4番変ホ長調/ベートーヴェン:

チェロとピアノのためのソナタ第1番ヘ長調/チェロとピアノのためのソナタ第3番イ長調

4,000円(全席指定)

鎌倉芸術館チケットセンター 0467-48-4500

「スティーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル」

4/6(火) 19:00開演 浜離宮朝日ホール(東京)

共演 小川典子(Pf)

サン=サーンス:チェロ・ソナタ第1番八短調/フォーレ:シシリエンヌ/エレジード・ビュッシー:チェロ・ソナタ/ラフマニノフ:2つの小品/ショスタコヴィチ:

チェロ・ソナタ二短調 6,000円(全席指定)

浜離宮朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

「大阪シンフォニカー第31回名曲コンサート」

4/10(土) 14:00/18:00開演

ザ・シンフォニーホール(大阪)

本名徹次(Cond) ンゴ・ホアン・クワン(Vc)

チャイコフスキー:スラヴ行進曲/ロココ風の主題による変奏曲/交響曲第5番ホ短調

大阪シンフォニカー協会 072-226-5522

「オーケストラ・アンサンブル金沢第159回定期公演」

4/16(金) 19:00開演

石川県立音楽堂コンサートホール

岩城宏之(Cond) ルドヴィート・カンタ(Vc)

ハイドン:チェロ協奏曲第2番二長調/ベートーヴェン:

交響曲第7番/プロコフィエフ:古典交響曲

石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632

「N響オーチャード定期公演」

4/29(木・祝) 15:30開演

オーチャードホール(東京)

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲イ短調作品104/交響曲第5番ホ短調作品64

広上淳一(Cond) 石坂団十郎(Vc)

S7,500円~B4,500円(全席指定)学生券当日のみ

Bunkamura 03-3477-3244

「関西フィルハーモニー第163回定期演奏会」

~みどりの日コンサート~

4/29(木・祝) 15:00開演

ザ・シンフォニーホール(大阪)

藤岡幸夫(Cond) 古川展生(Vc)

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲/吉松隆:交響曲第3番(関西初演)

S5,000円~学生席1,000円

関西フィル事務局 06-6577-1381

「東京交響楽団第514回定期演奏会

ウィーン古典派とフランスロマン派の巨匠」

5/8(土)18:00開演 サントリーホール大ホール

(東京)

J.ハイドン:交響曲第92番 長調 「オクスフォード」/チェロ協奏曲二長調/ベルリオーズ:幻想交響曲

~ある芸術家の生涯のエピソード

ヘンリク・シェーファー(Cond) 石坂団十郎(Vc)

S7,000円~P2,000円

TOKYO SYMPHONYチケットセンター 03-3369-

1661

## ご協力を

緊急!

1/17(土) 14:00から1/18(日) 18:30の間に、大阪府立大学交響楽団部室より総額1200万円を超える楽器類が盗まれました。盗まれた楽器は ヴァイオリン3台、ヴィオラ2台 弓11本、クラリネット1本、その他小物類の計32点です。大学交響楽団では広く情報を求めています。盗まれた楽器の詳しい特徴は、当団のホームページ

<http://fudaiok.s18.xrea.com/>

の盗難情報ページに載っています。何かご存知の方、気がついたことがある方、どんな些細なことでも構いません。特設掲示板まで情報をお寄せください。楽器が揃わないと僕たちのオーケストラは成立しません。どうかどうか、ご協力をお願いいたします。

大阪府立大学交響楽団部室直通電話

tel.072-258-2974

## 編集後記

前号の第3号発行が昨年5月、実に10カ月ぶりの第4号発行です。昨年は各地で高円宮様の追悼公演が自主的に開催され、参加者同士の心温まる交歓風景が見られました。そしてチェリストの皆様がエネルギーが、年末の東京での全国統一追悼チャリティーコンサートとして結実したわけですね。それぞれに出演された方々、黒子として支えていただいた皆様、そして参加せずとも心を一つにされた全国の皆様に、謹んで本号をお届けさせていただきます。

熱しやすく冷めやすい、移り気で気の多い性格。チェロを始め4年目にして、突然チェロの練習にも身が入らなくなり、レッスン日には弓を忘れて行く始末。コンサートからも遠ざかってしまいましたが、2月に久しぶりに訪れた大阪でのあるコンサートでイ音を聴いたら、さつと霧が晴れて、またムクムクと「弾きたい虫」が騒ぎだしました。音楽とも会いたいと思ってしまうので今後ともどうぞよろしくお願いします。(神戸/田畑久美子)

弦楽器専門誌「サラサーテ」編集長としての本業が今年から季刊誌になったことで、忙しくなってきました。最新号ではロストロポヴィチやジャン・ギヤン・ケラスなどの記事を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。加えて古川展生さんの4月21日発売の新しいCDで文章を書かせていただいたり、その古川さんとコンマスとして活動している宮前フィルとで6月にドヴォコンを共演していたり、公私ともに弦楽器の世界にとつづります。勉強に昨年からはチェロも始めました。(川崎/新巳喜男)

昨年11月に肺炎にかかり、今号の編集を田畑・新 両氏にお任せすることになり、大変ご迷惑をかけてしまいました。会員諸兄姉におかれては、まだまだ寒い日が続きますので、くれぐれも自身の健康管理に留意ください。(岡山/石岡三洋)